※H30年度の数値は、評価時点の数値。 事業名 結果 目指す成果 活動 | 戦略プロジェクト 事業概要等 ①食と農の連携推進事業(食と農のバリュー アップ推進事業) 多様な主体の参画 による円卓会議を開催する 戦略に基づいて,各 【事業概要】 平成29年度に策定した「もりおかの食と農バ 主体が,盛岡産農 ューアップ戦略」を基に、農業と2次産業、3 畜産物の魅力発信 や利用促進に取り 次産業の連携の強化を図り、魅力ある盛岡産 農畜産物のブランドカ向上と販路拡大,6次産 単位 開催回数) 組むようになる H29 H30 H31 業化の支援,盛岡の食の魅力発信等に取り組 4 未 【H29事業費】 24,970千円 【H30事業費】 27,566千円 専門家による生産 生産者がセミナーに 者の6次産業化の 盛岡産農畜産物の 【H31事業費】 取組を検証・支援するセミナーを実施す 参加する 認知度が向上する 【担当課】 食と農の連携推進室 【期待する効果】 【実施内容】 異業種連携をベースとした次の事業を実施す (単位 参加者数) 盛岡産農畜産物の (単位 ブランド総合 産業の魅力・活力 研究所調査「食品想 生産量・生産品目が ・所得の向上と夢のある農業の実現に向けた H29 H30 H31 増加する H29 H30 H31 起率の全国順位) があふれるまちに 戦略づくり。 2 未 150 未 H29 H30 H31 なる ・生産者の6次産業化支援。 25 未 ・盛岡産農畜産物の魅力発信。 ・盛岡産農畜産物のブランド力の向上と販路拡 メディアを利用した 【対象】 大の支援 盛岡産農畜産物の 【進捗状況】 ・6次産業化スタートアップ補助金は、4者に対し交付決定 PRを実施する メディアを通じて、消 −農畜産物 を行った。
・盛岡の食と農イメージロゴ・コンセプト開発を目的としたア 費者や事業者が、盛岡産農畜産物に ·製造業 単位 掲載メディア ・盛间の食と農オメーシロコ・コンセント開発を目的としたアンケートを実施した。
・東北絆まつり盛岡の開催に伴い、盛岡産農畜産物を活用したメニュー販売・PRを行うブースを出展した・ホ球女子カナダ・日本代表チーム航迎レセブション会場で、特産食材を活用した食のおもてなしを実施した。 関する情報を得る H29 H30 H31 【意図】 3 1 農畜産物の6次 産業化により販売 ②地域おこし協力隊活用事業(大ケ生地区) 額が一定水準に 「地域おこし協力隊」による大ケ生地域での暮らしや農業体験を通した, 都市農村の交流や 【事業概要】 達する。 大ケ生地区の地域 地域おこし協力隊が の魅力を高める取 地域農産物等の振 ・製造業の高付加 地場産品のPR, 民俗芸能の伝承活動等によ 興活動や地域行事 価値化を図る。 り、地域の魅力を高める取組を推進する。 地域おこし協力隊員 伝統芸能の支援活 を任用する 【H29事業費】 2,772千円 (単位 件) 単位 人) 【目標指標】 【H30事業費】 7.993千円 H29 H30 H31 H29 H30 H31 【H31事業費】 未 【担当課】 農政課 農畜産物加工品 【実施内容】 ・農林業や特産品の振興に係る活動 ・地域への誘客や交流に係る活動・地域行事や伝統芸能の支援に係る活動 販売額 ・地域ブランド等のプロモーションに係る活動 (単位 百万円 H29 H30 H31 ・地域内で生活し、ミョウガ栽培や稲作などの農作業を 手伝い、山里暮らしを体験。 ・民俗芸能(神楽、剣舞)の練習や年中行事に参加。 ・地域の特性や魅力を内外へ情報発信し、地域住民と の信頼関係を構築。集落機能の維持・活性化に向け 【進捗状況】 21 В た話し合いの場をつくり出している。 製造業粗付加価 ③地域おこし協力隊活用事業(簗川地区)(H30 值額*1 から構成事業) 「地域おこし協力隊」により、簗川地域での暮ら 【事業概要】 簗川地区の地域の (単位 千万円 地域おこし協力隊 しを通した、食と農、豊かな自然、歴史・民俗等を生かした地域支援や新たな生業を創出し、 魅力を高める取組を 推進するため、地域 が、農産物の生産 H29 H30 H31 販路拡大の支援活 地域の魅力を高める取組を推進する。 おこし協力隊員を任 4.716 (単位 件) 【H30事業費】 4,000千円 単位 【H31事業費】 H30 H31 H30 異業種交流にお 【担当課】 未 ・地域づくりに関する支援活動全般 ける商談成立件 【実施内容】 ・地域資源の発掘や活用企画等・地域の魅力発信,関係人口を増やす取組 数^{*2} ・農産物の生産, 販路拡大の支援活動 ・農作業体験, 農家の手伝いを通じた基礎的 (単位 件 鳥獣捕獲作業の同行,活動支援,狩猟免許 H29 H30 | H31 平成30年7月1日付で簗川地区の地域おこし 【進捗状況】 76 協力隊員1名を任用した。 1製造業粗付加 価値額 売上高から原材 ④まちなかマッチング事業 料費や仕入原価 などの変動費を差 【事業概要】 市内飲食店の経営者と農畜産物・水産物の県 飲食店等や市民(消 県内生産者等に 盛岡産農畜産物や 内生産者を対象に、商談会や見本市などを開催するとともに、商談成立につながるようなセミ る農畜産物等の見 費者)が見本市(展 し引いたもの。 水産物を取り扱う飲 本市(展示即売会) 示即売会)に参加す 食店等が増加する を行う ナーや空き店舗の情報提供などを行う。 *2異業種交流に (単位 件) (単位 人) 単位 回) 【H29事業費】 5,981千円 おける商談成立 H29 H30 H31 H29 H30 H31 H29 H30 H31 【H30事業費】 5,000千円 未 33,384 未 77 87 件数の目標値は、 【H31事業費】 平成27年度から 【担当課】 経済企画課 の累計である。 ・盛岡市内の飲食店等を対象とした商談会を 【実施内容】 ・県内生産者による見本市(展示即売会)を実 施する。 ・シェフ等プロ向けに、産地訪問ツアーを実施 する。 【進捗状況】 ・平成30年6月19日に第1回商談会を開催し、 参加事業者間での商談成立につながった。 盛岡市内の食産業 飲食店等が商談会 事業者(以下「飲食 こ参加する 象とした商談会を行 (単位 事業者) ⑤食の農の連携推進事業(盛岡の食材プロ モーション事業) H29 H30 H31 H29 H30 H31 【事業概要】 市内の農業生産者と飲食店・ホテルなどとのと 76 212 1 ジネスマッチング(商談会・シェフツアー)を支 援し, 地場農畜産物の地産地消を積極的に推 飲食店等を対象とし 飲食店等が産地訪 【H29事業費】 1,960千円 た産地訪問ツアーを 問ツアーに参加する 【H30事業費】 1,963千円 (単位 事業者) 【H31事業費】 単位 回) 【担当課】 食と農の連携推進室 H29 H30 H31 H29 H30 H31 【実施内容】 ・盛岡市内の飲食店等を対象とした商談会を 2 未 24 未 実施する ・シェフ等プロ向けに,産地訪問ツアーを実施 盛岡産農畜産物を ・盛岡産農畜産物を積極的に使ったメニュー 「盛岡の美味いもん や商品(以下、「メニュー等」という。)を提供する市内の飲食店等を支援する。 積極的に利用する アンバサダー | 認定 飲食店等に「盛岡の 事業者が増加する ダー」の認定を行う (単位 事業者) 【進捗状況】 ・盛岡の美味いもんアンバサダーを10事業者 単位 回) 認定し、87事業者となった。 ・マチナカ商談会を実施し、35の出展者が参加 H29 H30 H31 H29 H30 H31 77 87 51 10





